

12月 月例報告書

1. はじめに

今月は、別れを強く感じた1ヶ月でした。今年は例年より、温かいようで雪もあまりみることができません。温かいといっても風は冷たく、わたしを冷凍庫の中にいるような気分させます。今月の大半は冬休みだったので、学校生活だけでなく、休暇中の旅行についてもまとめていきたいと思います。

2. 期末試験

12月第1週目は期末週間でした。IELP以外の授業(コースや、Culture Connectionなど)は、以前に最後の授業を終えていたので、今月試験を受ける必要はありませんでした。なので、IELPの授業であるComposition, Reading, Listening, Grammar, Communicationの試験を受けました。Communicationの試験は試験時間内にお題に合わせて、原稿を作成し、クラスの前で発表するというものでした。それ以外はペーパーテストで、期末試験といっても、普段の授業より難易度は高くなかったように感じます。



先生たちは、わたしたちが授業時間内により多くの学びを得ることができるように、いつも最大限のサポートをしてくださいます。小論文を書いたり、文献を読んで意見交換をしたり、自分のテーマに合わせて文献を探し、それについてまとめる他に日常生活に役立つようなことを教えてくださったり、本当に有意義な授業だったように思います。私はIntermediateのクラスだったので、来期Undergraduate(現地の学生が履修する

通常の学部の授業)のクラスを履修できるようなレベルに到達することを目標に、これまで学習してきました。1からどのようにレポートや小論文を書くのか、文献を探すのか、何度も何度も練習し、意見を交換し、この半年間、簡単なものだけではありませんでした。ですが、学びが多い授業にできたのも、先生方の丁寧なご指導とクラスメイトたちが共に一生懸命学んでくれたからだと思います。「これまで担当してきたクラスの中で、このクラスが1番お気に入り」だと言ってくくださった先生方もおり、本当に嬉しかったです。来期は、IELPのAdvanced(大学院生用の授業を履修できる英語レベルに到達することを目標とした授業)の授業3つのほかにUndergraduateの授業を3つ履修する予定なので今期学んだことを生かして、学び続けていきたいです。

3. 友人との別れ

今月は、インターンシップのためにフィンドレー大学に来ていたコロンビア人の友人たちが期間を終え、帰国しました。私たちは、アメリカ人の友人が繋いでくれた縁で出会ったのですが、一緒にアニメを見たり、お家にお邪魔したり、日本料理を振る舞ったり、コロンビア料理を振る舞ってくれたり、多くの思い出があります。たった半年でしたが、



振り返ると思っていたより、彼らが私の生活の中にいて、多くの時間を共にしてきたことを実感し、別れの時はとても悲しくて泣いてしまいました。日本からコロンビアに行くことは簡単ではないので、もしかしたらもう2度と会えないのかもしれないなんて想像もしました。違う年齢、違う国にしながら互いにアメリカに来ることを決め、フィンドレー大学で出会えたことを思うと、本当に留学中の出会いは一期一会だと思います。人生で初めてのコロンビア人の友達でした。彼らをきっかけにもっと南米の国についても学んでみたいと思います。いつか必ず、彼らに会いに行きたいです。

4. クリスマス

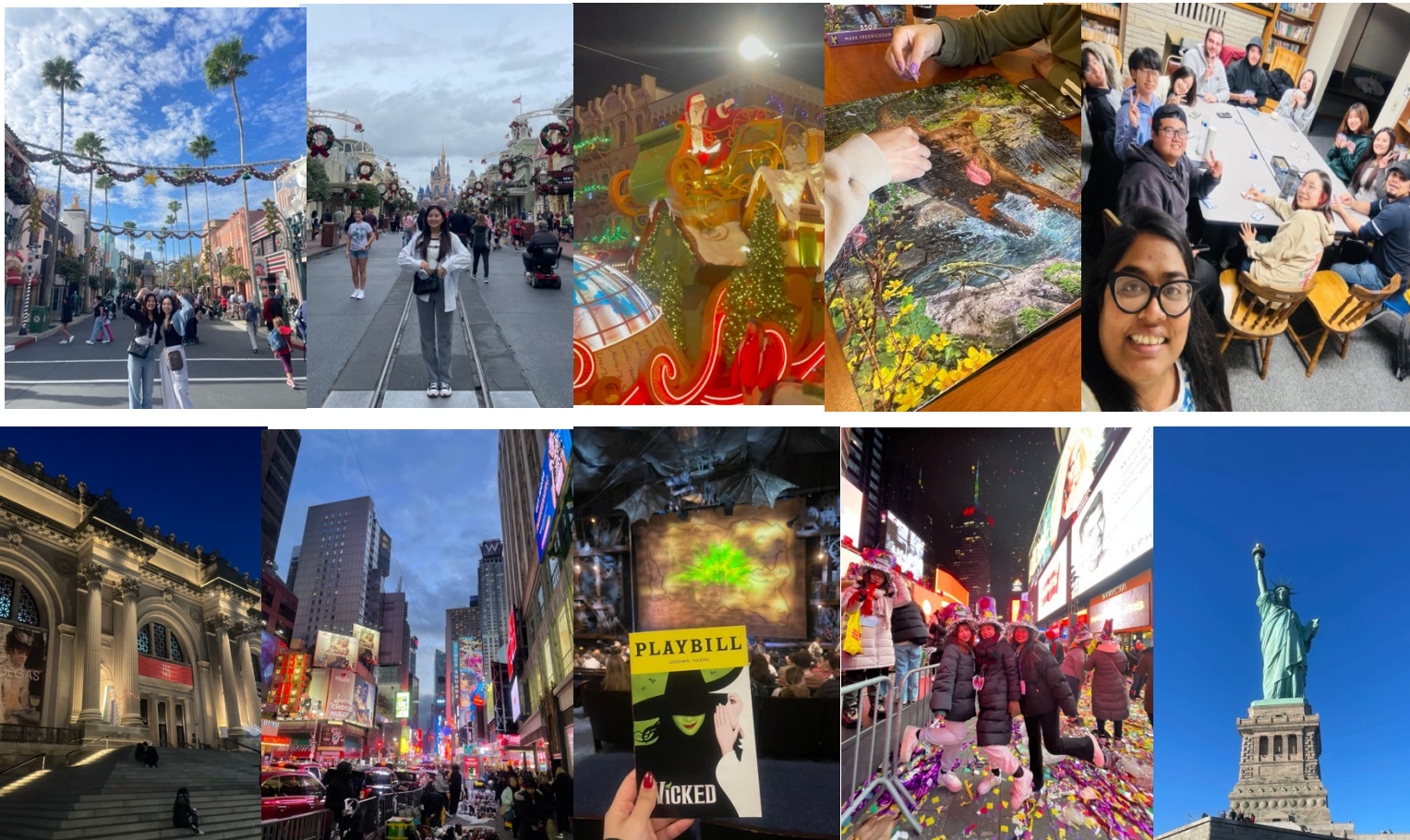
アメリカは、ハロウィンが終わった瞬間からクリスマスモードになります。なので、「いよいよ」というより、「やっと」なんて言葉が似合うとおもいますが、やっとクリスマス当日を迎えました。冬休み中は現地の学生は、帰省しており、大学にはほとんど人が居なくなります。クリスマスを迎える以前は、他の国から来た留学生とクリスマスマーケットに行ったりしましたが、イブは毎週行っている教会が主催しているイベントに訪れました。子どもたちが聖書の一部を演じたり、合唱団が歌うクリスマスキャロルを聴き、楽しみました。昼は夜に向けて買い出しをし、夜は友人たちとクリスマスパーティーをしました。日本とは違い、アメリカではクリスマスは家族で過ごす日なので大きな文化違いを感じつつ、海外でクリスマスを迎えることができたことに感動しています。



5. 冬休み

12/7~1/7 までが冬休みです。この章では私の冬休み中の旅行についてまとめていきます。私は、友人と共に、12/12~12/18 はフロリダ、12/29~1/3 までニューヨークに行きました。フロリダではディズニーワールド、ユニバーサルスタジオフロリダに行きました。日本との違いを楽しんだり、日本にはないアトラクションを楽しんだりと本当に楽

しかったです。フロリダは治安も良く、飛行機だと3時間ほどで着くため、行きやすくおすすめです。ずっとアミューズメントパークにいたこともあります。危険な目に遭ったり、おかしい人に遭遇することはありませんでした。ニューヨークではセントラルパーク、ブロードウェイ、ロックフェラー、タイムズスクエア、メトロポリタンミュージアム、グランドセントラルターミナル、自由の女神を訪れました。ですが何と言ってもメインはNew Year's Countdownです。私は、留学中、新年は絶対にタイムズスクエアのNew Year's Countdownで迎えたいと思っていました。私は友人と約12時間ほど待機したのですが、時間が経つのは思ったより本当に一瞬でした。というのも、私たちの前にいたグアテマラ人とベネズエラ人の二人組がとても面白く、彼らと話したり、一緒に音楽に合わせて盛り上がっていると時間はあっというまでした。運の良いことに、豪華なアーティストたちのステージも前から2列目で楽しむことができた上に、彼らと一緒にアメリカのテレビにも映ることができました。彼らが盛り上げ上手なあまりに、インタビューやテレビのカメラが彼らの方に何度も来るのですが、彼らは彼らだけでなく、私たちのことも「Japaaan!」と紹介してくれる私はわけもわからず、一体どこのカメラも知りませんが彼らと一緒に踊りました。フィンドレーで年越しを迎えていた友人がテレビに映った私たちの動画を送ってきてくれ、一生の思い出となりました。留学中のバケツリストがまた1つ叶い、本当に幸せです。



6. 最後に

今月は勉強に別れに遊び、本当に目一杯貴重な経験をしました。来月は新たな学期が始まります。これまで以上に成長するために、何ができるのかたくさん考えています。現状に満足することなく、反省と成長を繰り返しながら、1月も走り抜きたいです。